2027年3月期第2四半期　決算説明資料

2026年11月

コンピューターマネージメント株式会社

証券コード:4491

©Computer Management Co., Ltd.

目次

- 事業概要 2
- 2027年3月期第2四半期 連結業績 7
- 2027年3月期 連結業績見通し 12
- 当社の強みと成長戦略 16
- サステナビリティへの取組み 24
- APPENDIX 28

©Computer Management Co., Ltd.

事業概要

©Computer Management Co., Ltd.

会社概要

当社は顧客の経営課題をITで解決する独立系ITソリューションプロバイダーです

基本情報

会社名	コンピューターマネージメント株式会社
設立	1981年11月
上場証券取引所	東京証券取引所　スタンダード市場 （2020年3月11日上場）
証券コード	4491
大阪本社	大阪市北区梅田1-13-1 大阪梅田ツインタワーズ・サウス19F
東京本社	東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング9F
従業員数	768名（2027/3期 2Q　連結）
関連会社	ノックス株式会社

代表者



代表取締役社長
竹中 英之
Hideyuki Takenaka

2008年　当社入社
2011年　インフラ部門　部長就任
2024年10月　代表取締役社長就任

社是

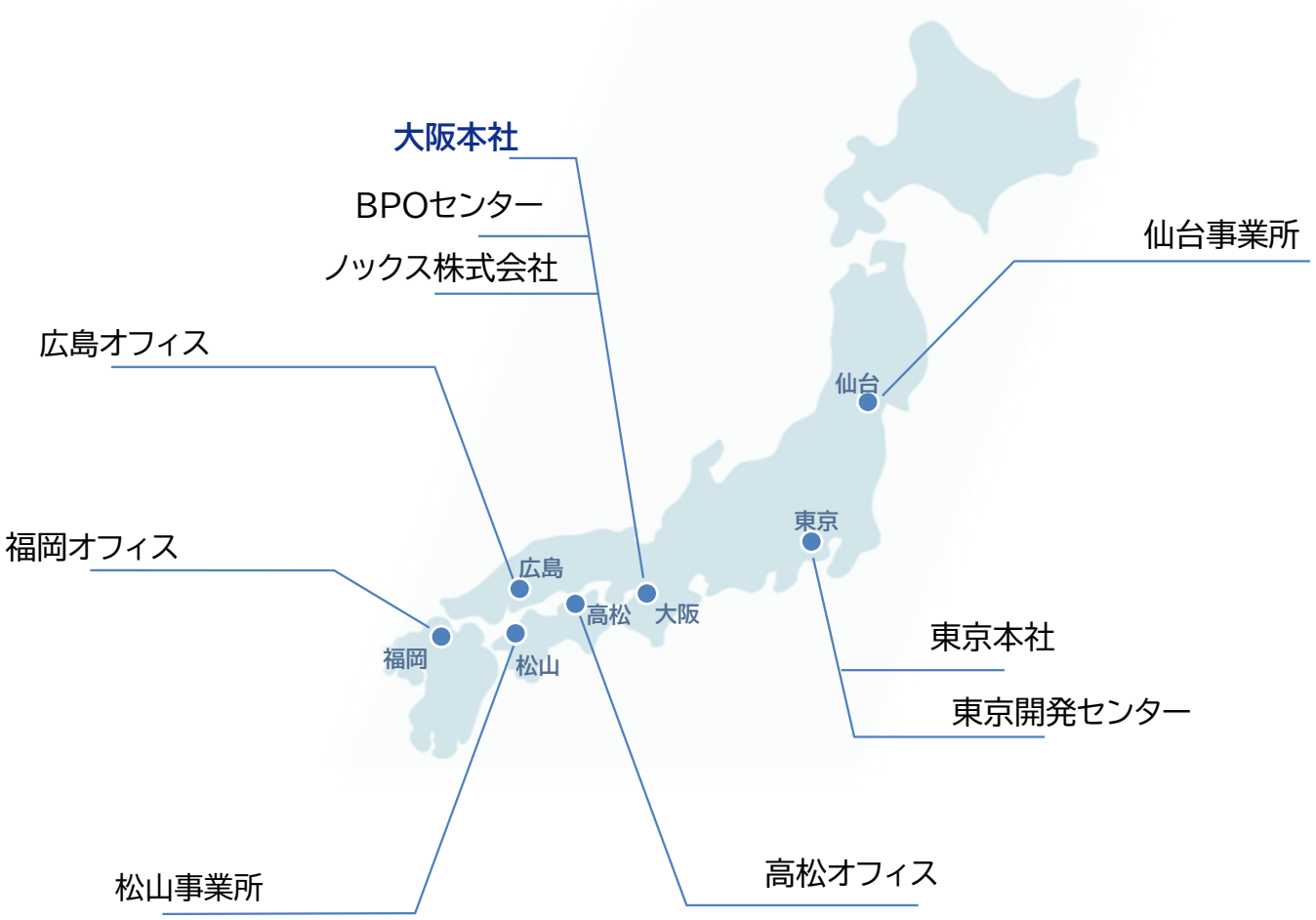
人間性の追求 ～ *Pursuit of the Humanity* ～

社会に役立つ結果を導き出すのは、豊かな人間性にほかなりません。
従業員一人ひとりが自らの人間性を追求し、人格を高めることで、
より社会に必要とされる企業に成長することが当社の望みです。

©Computer Management Co., Ltd.

事業拠点

現在、国内7エリアに9つの事業拠点を設置、全国展開を可能としています



連結従業員数

768名

（2027/3期 2Q）

©Computer Management Co., Ltd.

事業概要

COMPUTER MANAGEMENT

3つのソリューションでさまざまな顧客のシステム開発から導入までワンストップでご支援



インフラソリューション



ゼネラルソリューション



ERPソリューション

3つのワンストップサービスを提供

1. インフラ基盤構築からBPOまで3つのソリューションであらゆるシステム課題にワンストップで対応
2. コンサルティング(上流)からヘルプデスク(下流)までプロジェクトをワンストップでご支援
3. 業務効率化からDX、最先端の技術支援まで顧客のビジネス課題をワンストップでご支援

CMKワンストップソリューションサービス

©Computer Management Co., Ltd.

事業概要

各ソリューションの特長

	インフラソリューション	ゼネラルソリューション	ERPソリューション
サービス内容	**インフラ環境構築支援**	**システム開発支援** **業務支援ツール導入支援** **BPOサービス**	**ERP(統合基幹業務パッケージ)導入支援**
サービス詳細	・サーバー構築、運用保守支援 ・NW構築、運用保守支援 ・DB構築支援 ・AWS等クラウド環境構築支援	・各種業務システム開発支援 ・データ連携基盤開発支援 ・WF、BIツールなどの導入支援 ・ヘルプデスク、キッティング支援 などのBPO支援	・SAP S/4HANA導入支援 ・SAP cloud ERP 導入支援 ・SAP AMOサービス ・mcframe7、X 導入支援 ・奉行シリーズ導入支援
パートナー/アライアンス	・AWS認定 セレクトパートナー	・DreamArts社 公認パートナー ・WingArc1st社 アソシエイトパートナー ・IBM社 ・Solace社	・SAP PartnerEdge Service ・mcframe エンジニアリングパートナー ・OBC OAP Platinumパートナー

様々な業種・業務のIT活用を支援

©Computer Management Co., Ltd.

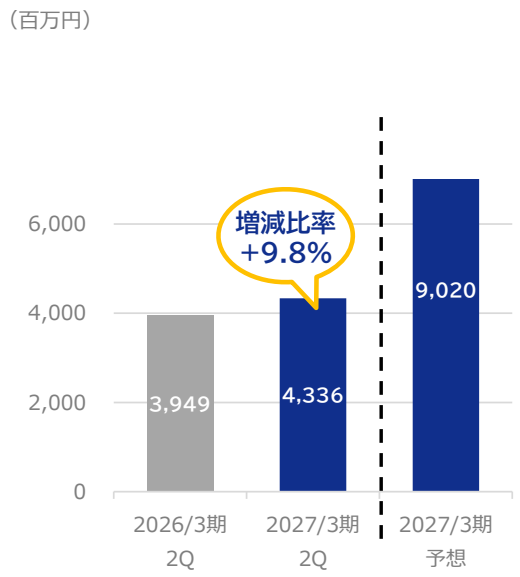
2027年3月期第2四半期　連結業績

©Computer Management Co., Ltd.

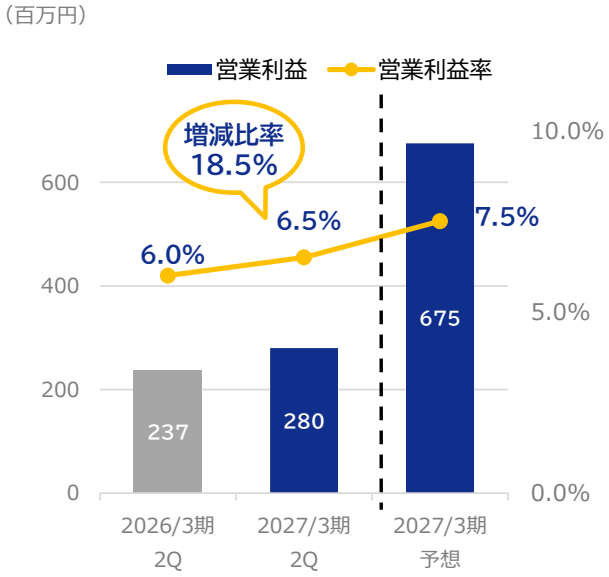
2027年3月期第2四半期　連結決算の概要

- 売上については、エンドユーザー案件、BPO案件及びノーコード・ローコード開発案件の受注拡大等により、前年同期を上回り、順調に推移
- 利益については、売上増による売上総利益の増加と、利益率の高い要件定義、設計等の上流工程及び自社持ち帰り案件へのシフトを行い、営業利益、経常利益とも前期比増益となった

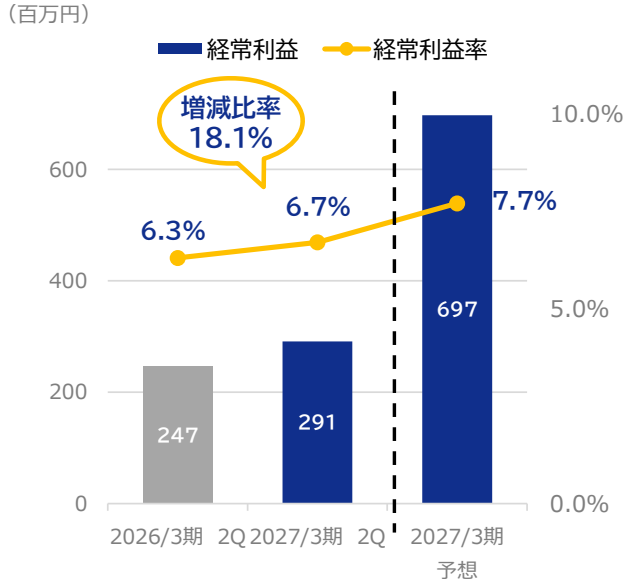
売上高



営業利益



経常利益

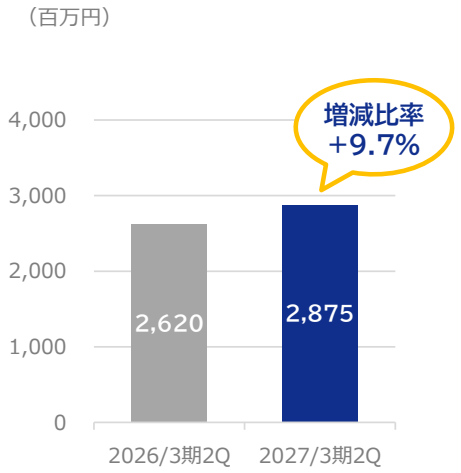


©Computer Management Co., Ltd.

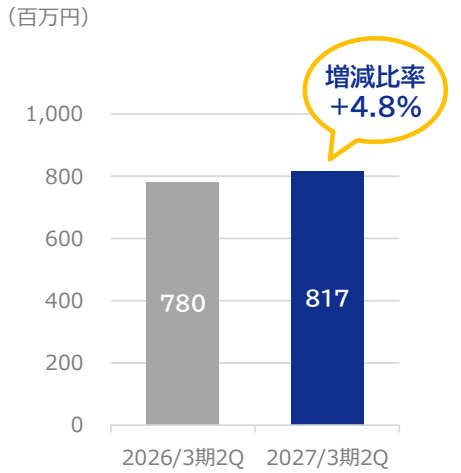
2027年3月期第2四半期　サービスライン別売上高

- ゼネラルソリューション：エンドユーザービジネスの拡大、ノーコード・ローコード開発案件の受注増により増収となった
- インフラソリューション：クラウド案件の受注拡大、部門連携によるコラボレーション案件の拡充やビジネスパートナーの活用強化により増収となった
- ERPソリューション　：高収益のコンサルティング案件へのシフトや製造業向けmcframe案件受注拡大などにより、増収となった

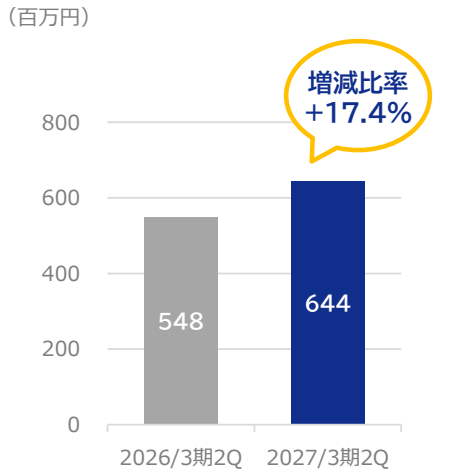
ゼネラルソリューション



インフラソリューション



ERPソリューション



©Computer Management Co., Ltd.

2027年3月期第2四半期　連結バランスシートの状況

（百万円）

	2026/3期	2027/3期 第2四半期	前期比増減額	増減理由	
流動資産合計	4,790	4,967	+176	現金及び預金	+92
				売掛金	△67
				仕掛品	+99
固定資産合計	937	1,070	+133	投資有価証券	+324
				繰延税金資産	△125
資産合計	5,727	6,037	+310		
流動負債合計	1,189	1,188	△1	買掛金	+22
				退職給付に係る負債	+19
固定負債合計	387	407	+19		
負債合計	1,577	1,595	+18		
純資産合計	4,150	4,442	+291	利益剰余金	+75
負債･純資産合計	5,727	6,037	+310	その他有価証券評価差額金	+221

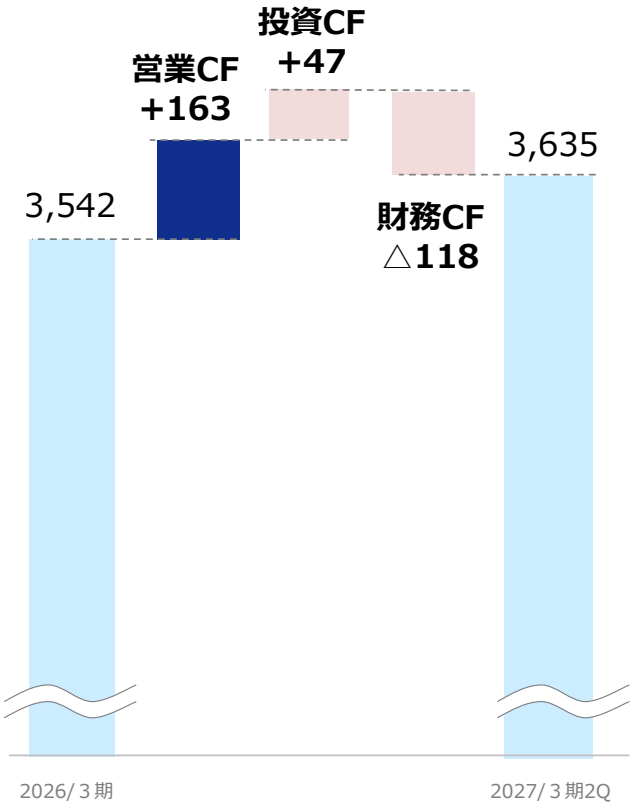
©Computer Management Co., Ltd.

2027年3月期第2四半期　連結キャッシュフローの状況

- 営業CF：堅実に事業を継続し、増加となった
- 投資CF：役員退任に伴う役員保険の解約により、増加となった
- 財務CF：配当金の支払いにより、減少となった

（百万円）

	2026/3期 2Q	2027/3期 2Q
営業CF	135	163
投資CF	△28	47
財務CF	△100	△118
現金及び現金同等物の期首残高	3,303	3,542
現金及び現金同等物の期末残高	3,311	3,635



©Computer Management Co., Ltd.

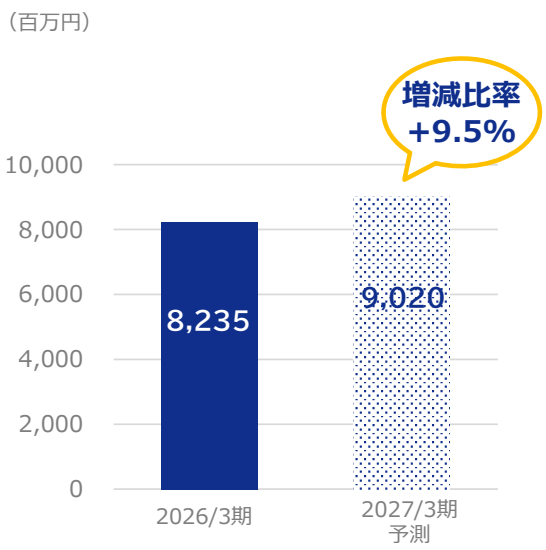
2027年3月期　連結業績見通し

©Computer Management Co., Ltd.

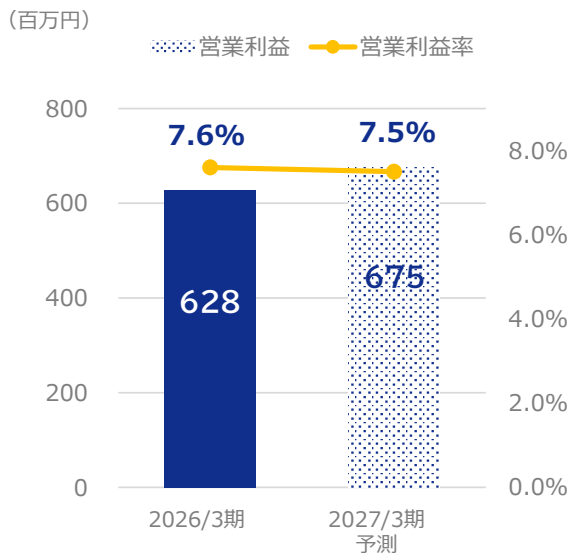
2027年3月期　連結業績見通し

- 売上高は引続き上流工程業務の拡大、エンドユーザー比率引上げに注力し、前期比9.5%の増収を見込む
- 経常利益はコンサルティング案件などの高収益案件への取組み強化、既存案件の取引条件の見直しを行い、前期比7.3%の増益を見込む

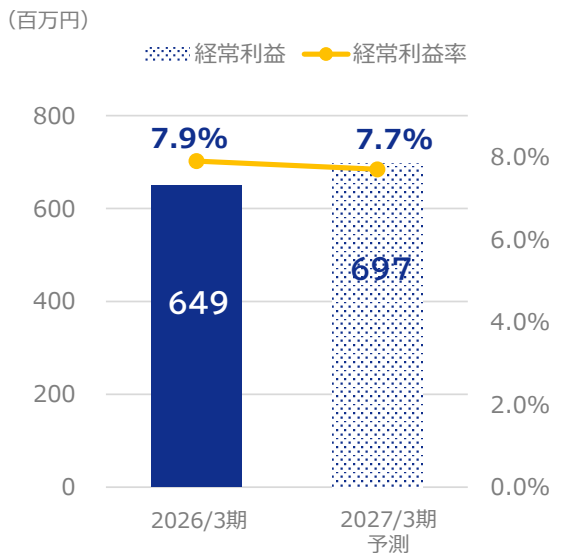
売上高



営業利益



経常利益

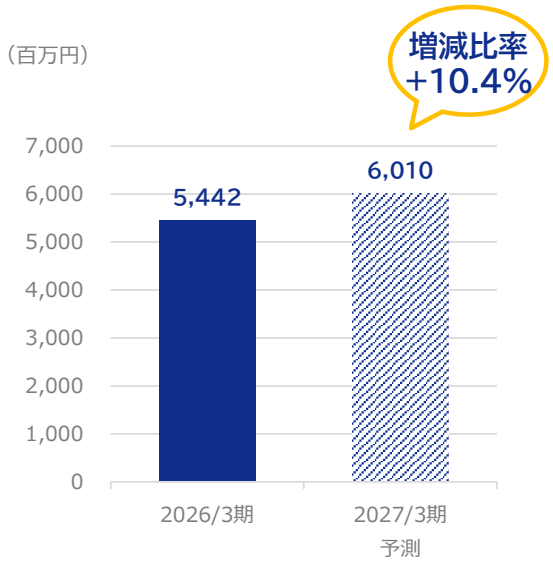


©Computer Management Co., Ltd.

2027年3月期　連結業績見通し　サービスライン別売上高

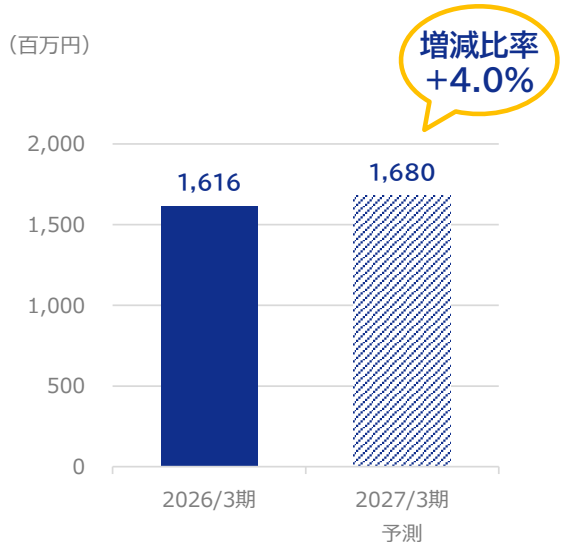
ゼネラルソリューション

- アライアンス・新サービスの拡充によるAI領域強化
- コンサルティング領域拡大によるエンドユーザービジネス強化
- ワンストップソリューション推進によるBPOビジネス拡大



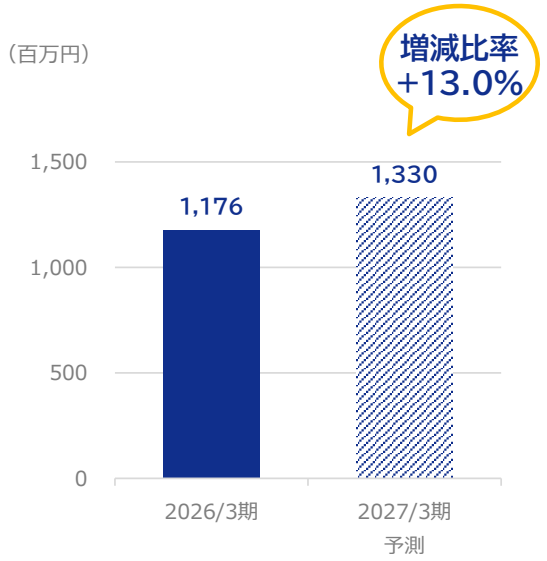
インフラソリューション

- 独自サービス展開によるエンドユーザービジネス強化
- クラウド環境構築案件の拡大
- コンテナ、サーバーレス等の先進技術案件拡大



ERPソリューション

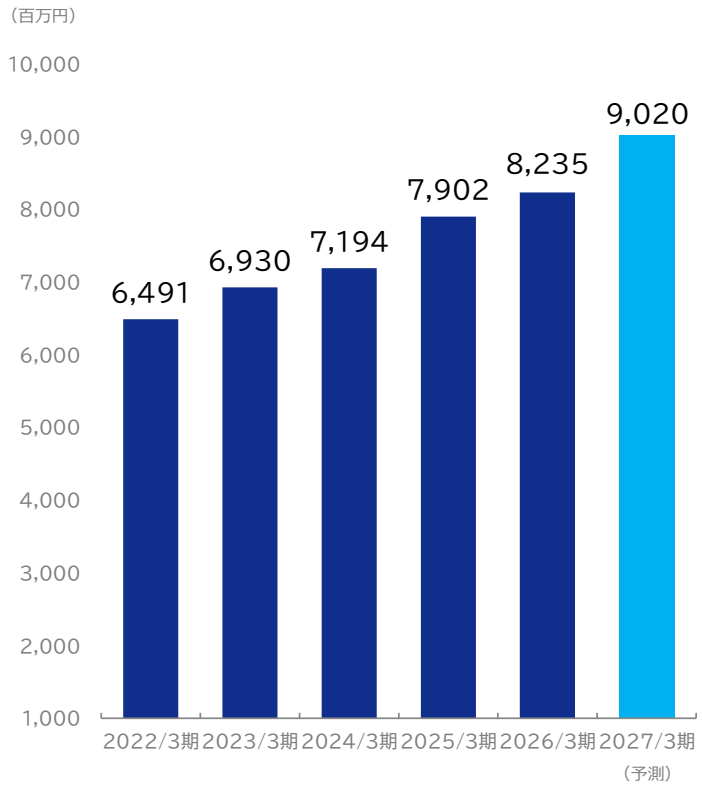
- クラウドERP領域を軸としたエンドユーザービジネス強化
- コンサルティング領域を中心とした上流工程シフト
- 独自サービス展開によるAMOサービス拡大



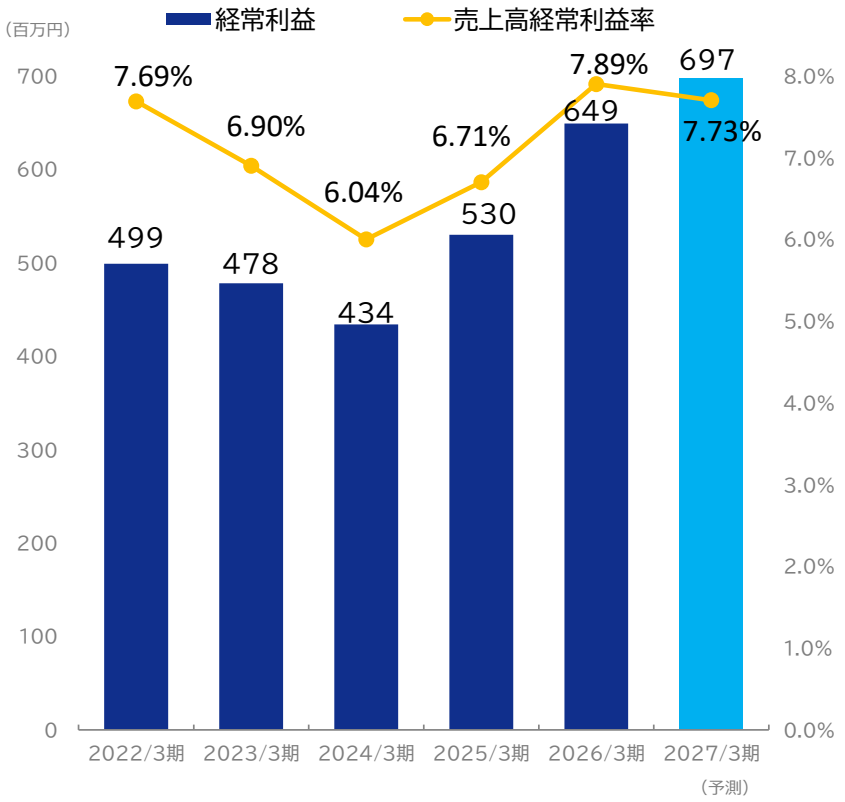
©Computer Management Co., Ltd.

業績ハイライト

連結売上高の推移



連結経常利益・売上高経常利益率の推移



©Computer Management Co., Ltd.

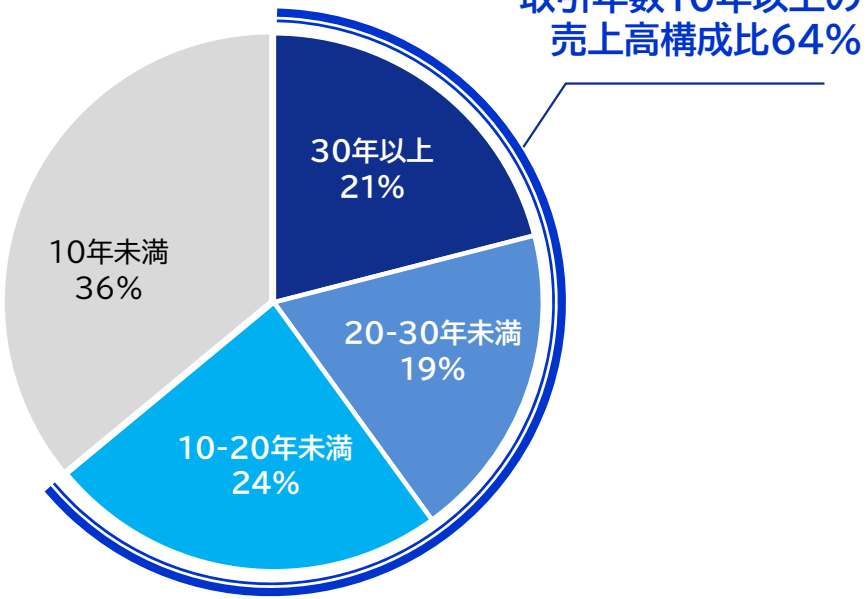
当社の強みと成長戦略

©Computer Management Co., Ltd.

成長を支える安定収益基盤

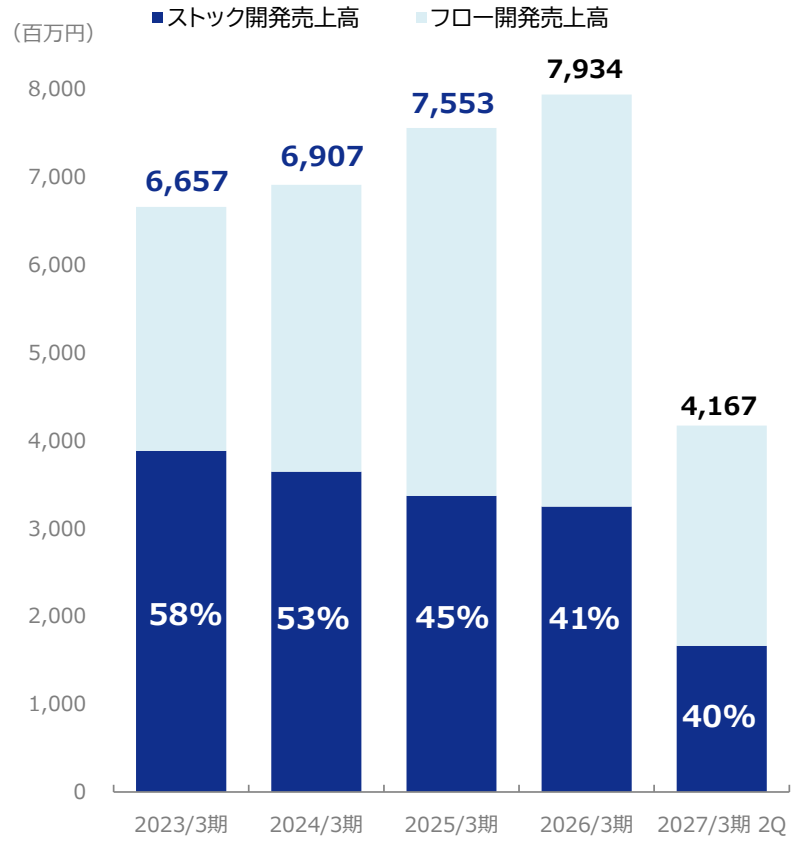
顧客との長期取引実績

■ 取引年数別売上高構成比 （2027/3期 2Q 単体）



伴走型支援による強固な信頼関係を構築

ストックビジネスによる安定収益基盤



注：ストックビジネスは、継続的な取引が見込まれる開発業務、運用・保守・サポート業務、ヘルプデスク、オペレーション業務、ASP等を対象としています。

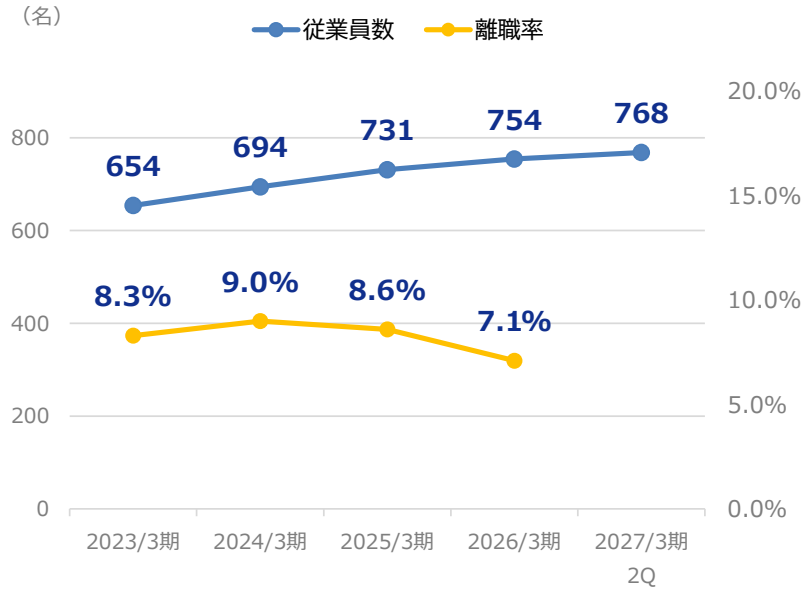
©Computer Management Co., Ltd.

積極的な人材投資により確保された動員力

- 従業員数は採用強化策の実施と退職抑制策の効果で、前期比14名増と安定的な人員数拡大が実現
- パートナー数は、パートナー増強を重要施策として掲げ、専担部署であるパートナー推進部を設置したこともあり、平残ベースで前期比40名の大幅増が図れた

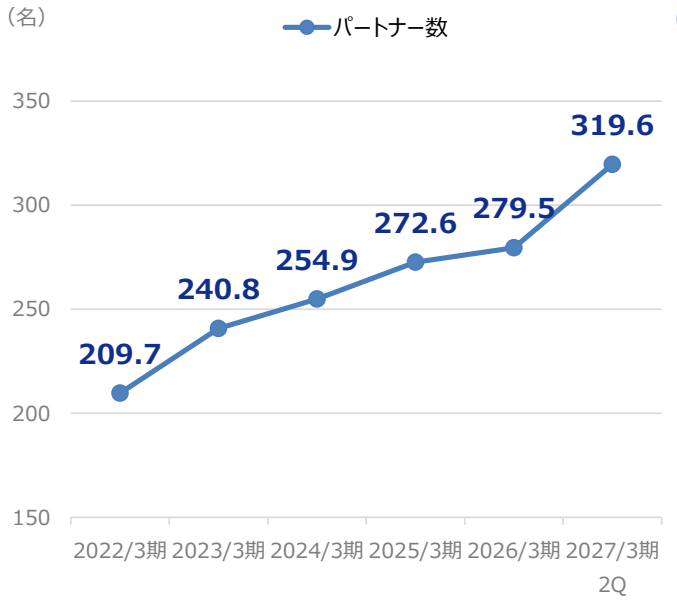
従業員数と離職率（3年移動平均）の推移（連結）





パートナー数（平残）の推移（連結）





©Computer Management Co., Ltd.

エンドユーザービジネスを軸とした事業拡大

全社での顧客区分別売上高構成比

エンドユーザー	38%
ITメーカー	21%
SIer	41%

エンドユーザーの東西エリア比率

西日本エリア	69%
東日本エリア	31%

2026年3月期 新規エンドユーザー数　14社増

展示会出展やアライアンスの推進により
新規エンドユーザー取引を着実に拡大

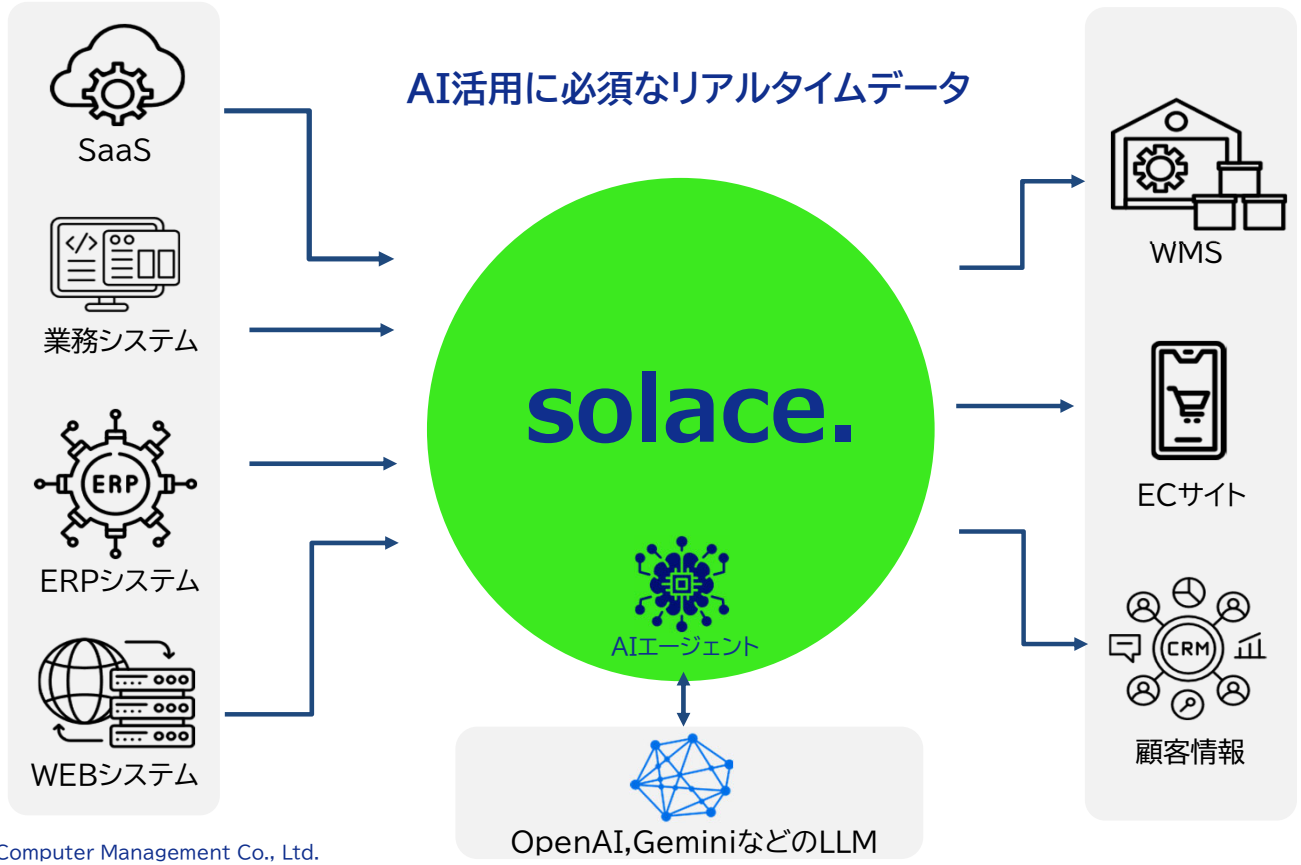
東日本エリアの営業を強化し、
エンドユーザービジネスのさらなる拡大と
構成比の向上を目指す

©Computer Management Co., Ltd.

AI×アライアンスによる価値創出の強化

COMPUTER MANAGEMENT

新たにSolace社とパートナーシップを提携
エージェント型AI向けプラットフォーム「Solace Platform」でリアルタイムデータ連携を実現



リアルタイム×AIエージェント

活用事例

- 受発注、在庫情報の即時反映
- 異常リアルタイム検知
- 業務プロセスの自動実行

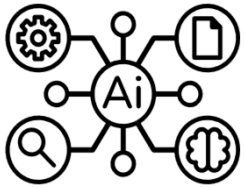
©Computer Management Co., Ltd.

AIを軸とした成長戦略 3つの柱

COMPUTER MANAGEMENT

エンドユーザーおよびSIer向けAI活用・開発支援の実績を基盤とした事業拡大

AIコンサルティングによる価値創出支援



リアルタイムデータ連携を基盤にRAG構築を含むAI活用とノーコード・ローコード開発を組合せ、業務効率化から新たな価値創出まで、一貫したAI活用を支援

AIを軸とした高度IT人材の育成



育成プログラムを通じ、先進技術領域に対応可能なエンジニア育成を推進、技術力の底上げと提供価値の向上を実現

AI活用による開発業務の高度化



開発工程にAIを活用し、開発リードタイムの短縮とコスト最適化を実現、品質の安定化や迅速な要件対応など、顧客価値の向上に貢献

©Computer Management Co., Ltd.

独自サービスの展開

エンドユーザーへの伴走型支援のノウハウをもとに、各ソリューションで独自サービスを提供

サービスラインナップ

「ITあんしんサポート」



ひとり情シスや少人数の情シス部門を支援するSE伴走型支援

「情シス支援サービスBPOレンジャー」



情シス部門がコア業務に注力できる環境づくりを支援

「CMK AMOサービス for SAP（CASS）」



SAP保守・運用業務をアウトソーシング、リソース不足や属人化の解消を支援

「クラウド導入支援サービス　for AWS」



AWS構築を計画から構築まで実績豊富なプロが支援

「パソコンおまかせサポート」



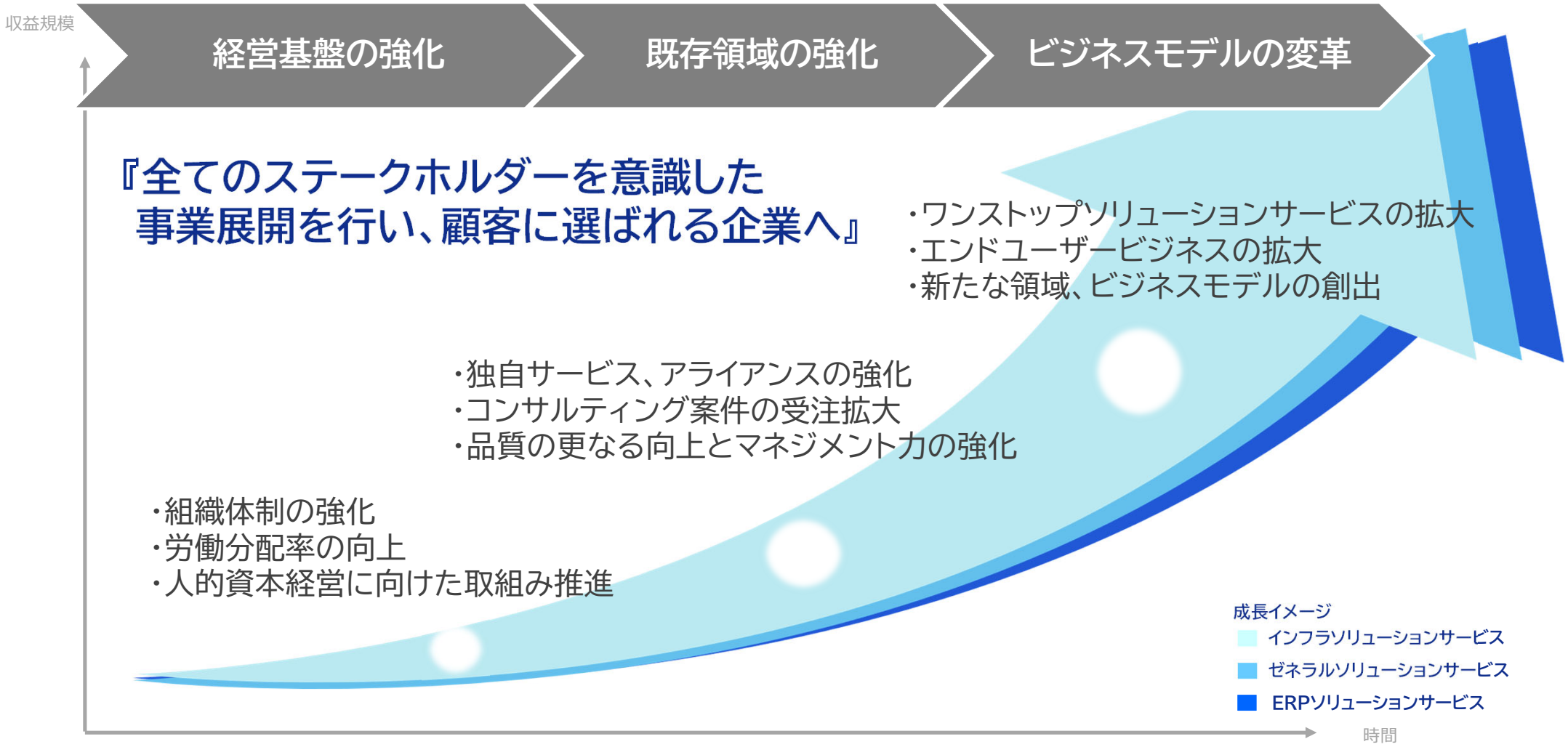
総務部門や情シス部門の社内PC対応業務をトータルに支援

導入メリット　一例

- ITのプロに相談可
- 課題整理支援
- 利用ユーザーの満足度向上
- 属人化の解消
- ドキュメント化の推進
- 中長期で伴走

©Computer Management Co., Ltd.

中長期的な基本方針



©Computer Management Co., Ltd.

サステナビリティへの取組み

©Computer Management Co., Ltd.

マテリアリティ目標の特定

COMPUTER MANAGEMENT

重要課題	取組方針	指標・目標（2030年度）	
1. 気候変動への対応	• 使用電力の削減 • ペーパーレス化 • グリーン調達の推進 • リモート会議による出張の削減 • 官民連携の脱炭素活動への参加	温室効果ガス排出量（Scope1,2）	20%削減（2022年度比）
2. ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン	• 職場での全ての女性・男性の公平な待遇の実現 • 事業のグローバル化を見据えた国際的な人材の採用推進 • シニア層や障がい者が能力を発揮できる職場環境づくり	採用に占める女性の比率	40.0%
		従業員に占める女性の比率	30.0%
		管理職（課長級以上）に占める女性の比率	30.0%
		従業員に占める外国籍従業員の比率	3.1%
		従業員に占めるシニア層の比率(60歳以上)	3.1%
		従業員に占める障がい者の比率	2.5%
		育児休業の取得率	100%
		男性従業員における育児休業の取得平均期間	30日以上
3. 人的資本経営	• 時短および有休取得の推進によるワーク・ライフ・バランスの向上 • メンタルヘルス、健康維持支援などウェルビーイングの実現 • 従業員のスキルアップ支援 • 「パートナーシップ構築宣言」への登録	有給休暇の取得率	100%
		時間外労働の削減	20%（2022年度比）
		教育研修費	200%（2022年度比）
4. 品質・セキュリティ	• 品質委員会による品質向上管理 • 情報セキュリティ委員会による リスク管理	第三者認証の維持	◆ ISO9001 ◆ CMMI Level2 ◆ ISO/IEC27001 ◆ プライバシーマーク
		第三者認証の認定取得	◆ CMMI Level3

持続可能な社会の実現

企業理念

サステナビリティ経営方針

当社グループは、ソフトウェアという無形の財産を世に送り出している企業です。現在のような高度情報化社会において、ソフトウェアは武器にもなれば、平和を守るための道具にもなります。

社会に役立つ結果を導き出すのは、豊かな人間性にほかなりません。従業員一人ひとりが自らの人間性を追求し、人格を高めることで、より社会に必要とされる企業に成長することが当社の望みです。

社是	経営理念	ビジョン
人間性の追求	現状打破の経営 率先垂範の経営 誠心誠意の経営	顧客に選ばれる企業へ

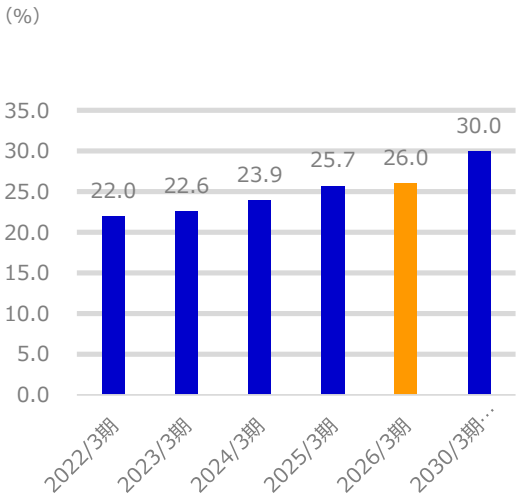
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

© Computer Management , Inc.

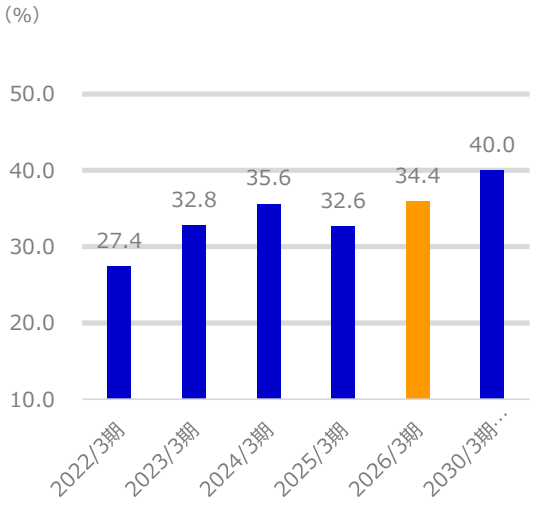
取組事例～ダイバーシティ～

現在、当社では様々なバックグラウンドやライフスタイルを持つ従業員が働いております。
その多様性を活かし、誰もが自己の能力を最大限に発揮できる健全な職場環境を構築いたします。
特に女性の活躍に関しては、出産、育児といったライフイベントが活躍の支障にならないような職場環境の構築に注力しております。

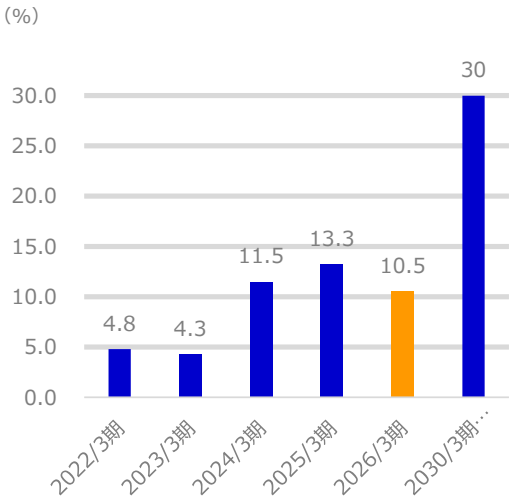
女性従業員比率の推移



女性従業員の採用比率推移



女性管理職推移(課長以上)



©Computer Management Co., Ltd.

取組事例～育児休業取得支援～

当社は、社長名で育児休業取得支援方針を周知するとともに、男性従業員への個別育児休業取得意向確認等の施策を継続実施、従業員の育児休業取得推進を行っております。

育児支援に関する当社方針

次世代の社会を担う子どもを安心して産み、育てられる職場環境をつくることは、
企業に求められる基本的な役割の一つであると考えています。
従業員が仕事と育児を両立しつつ、その能力を十分に発揮できる職場環境づくりに
積極的に取組んでまいります。

代表取締役社長 竹中 英之

育児休業取得率の推移

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
女性従業員	100.0%	100.0%	100.0%
男性従業員	66.7%	83.3%	92.9%
合　計	77.8%	88.2%	95.5%

©Computer Management Co., Ltd.

APPENDIX

©Computer Management Co., Ltd.

配当方針

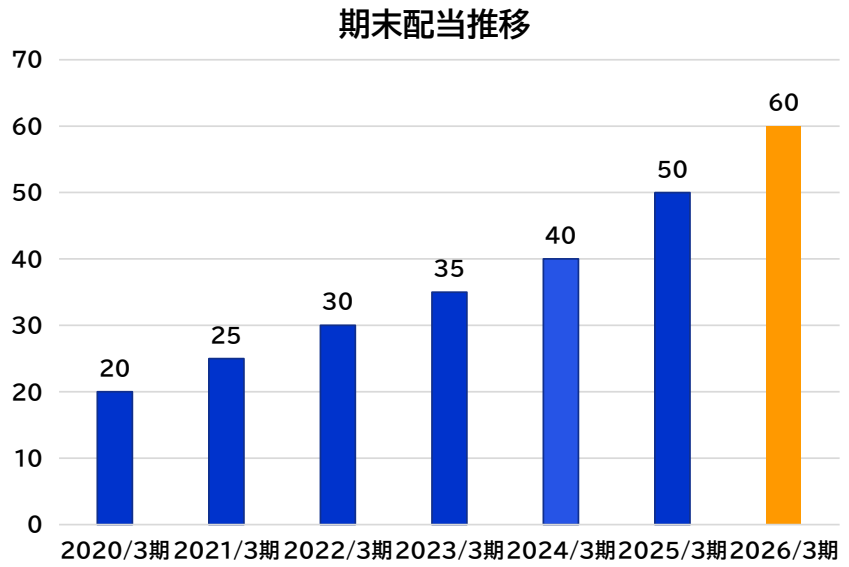
1. コンピューターマネージメントの配当方針

株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

2. 配当推移

	1株当たりの配当（円／株）	
	予想	期末配当
2026年3月期	50	60
2025年3月期	40	50
2024年3月期	35	40
2023年3月期	30	35
2022年3月期	20	30
2021年3月期	20	25

※株式分割後基準



©Computer Management Co., Ltd.

株主優待制度について

1. コンピューターマネージメントの株主優待について

持続的な成長による企業価値の向上と、安定的な配当の継続実施が株価上昇の基本と考えております。
一方で、当社の知名度やブランドイメージの向上を通して、株主数の増強による当社株式の流動性向上の一つの方策として、株主優待制度を設定しております。
今後とも、当社の魅力を高め、より多くの投資家の皆様にご注目いただけるように努めてまいります。

2. 株主優待の内容

項目	単元(株数)	優待内容
年間株主優待	1単元(100株)以上	当社オリジナルQUOカード 10,000円分

3. 株主優待の基準

2027年9月末日	1単元(100株)以上	当社オリジナルQUOカード 10,000円分

©Computer Management Co., Ltd.

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

現状評価として、次頁の通り、当社のROEは過去5年間の平均で12.3%、当社の資本コスト(WACCベース)は、
5.78%と認識しており、資本収益性が資本コストを充分に上回っております。
配当につきましても、7期連続で増配を実施し、配当性向の向上を目指しております。

また、2025年より株主優待制度を新設いたしました。
企業認知度やブランド価値の向上を図ることで、市場における当社の評価向上および資本コストの低減につなげてまいります。
今後は、更なる企業価値の向上を目指し、株主や投資家の皆様から当社の企業価値や成長性を適切に評価していただくため、
引続き下記の施策を実施してまいります。

1. 企業価値向上のための投資推進
   (1) 成長性の高い新技術を当社の新たな事業として展開すべく、新技術基盤開発室での研究開発を推進します。
   (2) M&A実行体制を構築し、既存事業とのシナジーが見込める案件について検討を進めます。
2. 安定的な株主還元の継続
   株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題と位置づけ、事業展開と経営体質の強化のために
   必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。
   今後も、短期的な業績変動にとらわれず、安定的な株主還元を実施してまいります。
3. IR活動の積極化
   事業内容や成長戦略をご理解いただくために、株主や投資家の皆様との対話や情報発信を強化し、
   企業価値や成長性に見合った株価形成につなげてまいります。

©Computer Management Co., Ltd.

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

諸計数推移（連結）

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高（千円）	6,233,729	6,491,109	6,930,650	7,194,045	7,902,467	8,235,420
営業利益（千円）	385,065	493,846	472,657	427,076	514,121	628,967
経常利益（千円）	397,228	499,027	478,220	434,442	530,556	649,692
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	285,490	353,221	337,657	327,407	397,887	511,812
1株当たり純利益（円）	140.71	173.90	166.17	160.96	195.43	251.21
ROE（自己資本利益率）	13.2%	14.4%	12.4%	10.8%	11.7%	12.3%
1株当たり純資産額（円）	1,150.37	1,272.43	1,402.74	1,570.56	1,758.49	2,036.93
PBR（株価純資産倍率）	1.24	1.25	1.08	1.00	1.00	1.43
配当性向	17.8%	17.3%	21.1%	24.9%	25.6%	23.9%
期末株価（円）	1,429	1,593	1,520	1,574	1,750	2,906

©Computer Management Co., Ltd.

「cmkPLUS」を公開中

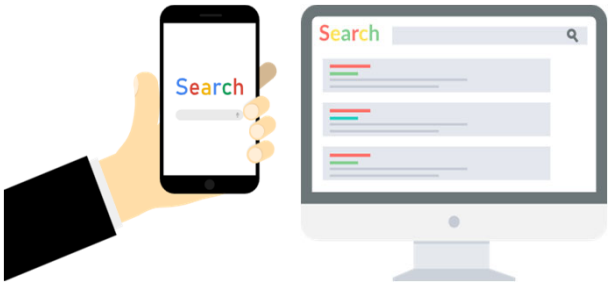
エンドユーザービジネス拡大に向け、コミュニケーションツールとして「cmkPLUS」を公開中

■当社ホームページから

https://www.cmknet.co.jp/



■通常の検索から



「cmkPLUS」

https://plus.cmknet.co.jp/

エンドユーザーのお役立ち情報に特化した
専用のホームページです。



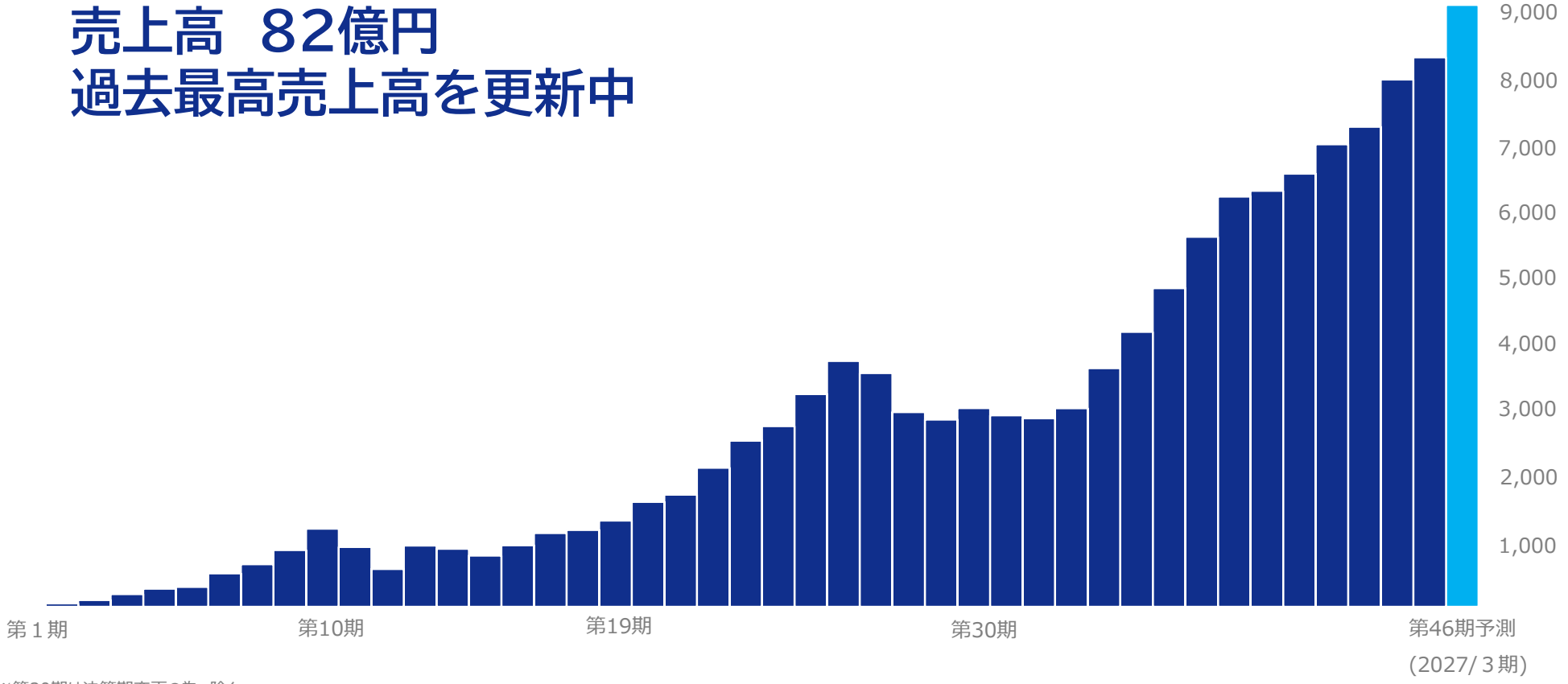
©Computer Management Co., Ltd.

創業時からの売上高推移

COMPUTER MANAGEMENT

売上高（百万円）

売上高　82億円
過去最高売上高を更新中



※第20期は決算期変更の為、除く

※第37期より連結

©Computer Management Co., Ltd.

コンピューターマネージメント株式会社

Pursuit of the Humanity

当資料は当社グループの業績及び経営戦略等に関する情報の提供を目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。
従いまして、様々な要素によって今後の見通しが変更されることや実際に公表される業績が変動する可能性があります。
当社は当資料を使用されたことに生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。
なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

©Computer Management Co., Ltd.